

スイッチとうおん特別版

明るい社会へ

7月25日、第8回「社会を明るくする運動」東温市大会が行われました。社会を明るくする運動は、全ての国民が、犯罪や非行の防止と、非行をした人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。大会では、中学生の意見発表や、落語家の三遊亭楽春さんによる講演が行われました。



挨拶から始まる 明るい社会 重信中学校2年生 倉橋 慧迅 さん

「お帰り」、私の耳に心地良い声が響いた。強い日差しの中、自転車で坂道を登る時だ。声の先に顔を向けると、見慣れた顔が微笑んでいた。毎日、当たり前のように通学途中に地域の方が挨拶をしてくれる。

私の住む地域は、東温市でも山間部に位置し、中学校まで片道6kmの距離を通学している。この地域は、自然が豊かで綺麗に山の斜面に並ぶ棚田、四季折々の花を見る事ができる。通学は自転車だが、通っただけで疲れるほどだ。しかし、自然の中を通う私にとって心が癒やされる時間でもある。また、人口も少なく、過疎化が進んでいる。

このような地域で、私は毎日生活をしている。少ない人口だけに隣近所は皆顔なじみの人々だ。顔見知り、先輩、後輩共に知り合いが多く、お互いに毎日挨拶を交

わしている。「おはよう」「気をつけて行ってらっしゃい」と誰ともなく毎朝この言葉を耳にする。当然ながら私も返事を返す。「行ってきます」と。帰りになると「お帰り」「お疲れ様」「学校はどうだった」「お疲れ様」「学校はどうか」と返事を返してしまおうこともある。家族のように感じてしまおう。こんな会話のやりとりが私の周りでは行われている。心地良い響きだ。

挨拶の言葉で、その日一日の疲れが吹っ飛んでしまう。何気ない日々の中で、心の交流が行われていると私は感じている。そう思うと、ふと、この地域には非行というものがほとんどないことに気付いた。挨拶は、毎日の当たり前のことだ。けれど、挨拶の一言で、心が癒やされ、悲しいとき、嬉しいとき、なぜか、自分の悩みが消え去っていく。私は、毎朝登下校に大きな声で挨拶をしている。挨拶には、すごい力があると思う。

この地域の皆の挨拶で平和な非行のない生活が保たれている。挨拶には人を思いやり、大切に思う気持ちがある。大切に思うから、挨拶は、すこい力があると思う。この地域の皆の挨拶で平和な非行のない生活が保たれている。挨拶には人を思いやり、大切に思う気持ちがある。大切に思うから、挨拶は、すこい力があると思う。

大会で披露された、川内中学校と重信中学校の代表生徒による意見発表を紹介します。

協力することの 大切さ 川内中学校2年生 河田 幸奈 さん

私は、先日、ジョブチャレンジという中学生が職場体験をする活動で坊っちゃん劇場に行きました。そこで私は、同学年の三人の生徒と共に、公演前後の劇場の清掃や観劇、もぎりや客席案内など、たくさん経験させていただきました。さらに、特別に舞台裏や照明担当の方の仕事の様子を見せていただきました。そこで私は、改めて裏方の仕事をしている人の多さ、大切さに気付きました。役者さんが大切なのはもちろんですが、裏方の音響や照明などの仕

事も本当に大切です。さらに言えば、お客様が快適に劇を楽しめるよう、劇場内を清掃することも大切な仕事の一つです。

ある大きな物事を進めるとき、要や中心になる人はもちろん大切です。しかし、その人たちを補助する人がいなければ、要の人たちは本来持っている力を存分に発揮できなくなります。逆に言えば、それぞれの立場の人が協力し、助け合えば、より良いものが作れるということでもあります。これは、ジョブチャレ体験期間で、私が一番学んだことです。

私は、今まで人と協力すること、少し苦手でした。なぜなら、自分の思っていること、考えていることを人に伝えるのは大変で、自分一人でするところまで進めたほうが楽であり、早く物事を終わらせることができると思っていたからです。しかし、一人の力でできることには限界があり、行き詰まったり、自分に必要以上にストレスがかかったりすることも考えられます。しかし、協力をすれば、一人一人にかかる負担は小さくなり、様々な視点から、問題の解決策も見つかるかもしれません。この考え方は、非行防止をする

地域とは明らかに異なる。人には様々な性格があり、内気な人や人見知りの人にとっては、挨拶がストレスとなることもある。また、挨拶の仕方や言葉によっても相手にストレスを与えてしまうこともあると思う。このように挨拶によるメリットもあれば、デメリットもある。

挨拶は、人と人との関係を作る潤滑油のようなものだと思う。学校でも挨拶の大切さについて学ぶ。しかし、どうしてこのように差が生まれてくるのか、私には不思議でならない。挨拶の意味、挨拶をする事で、心地良い一日が始まる。当たり前のように気持ちを入れ替えて大きな声で言うだけで、自分自身にも気合いが入る。声を出すことで、一日のエネルギーを全身にみなぎらせ、やる気が充填される。一声の中に、たくさんの意味がある。挨拶をすることの意味を一つでもいい、自分自身の中で、良い一日が気持ちよくスタートできたと思えば良いと思う。

誰にでもできる事だと思おう。これまで述べてきた挨拶の大切さ、地域がお互いに心と心で結ばれた中では、非行というものはほとんどないと思う。お互いに、老若男女関係なく地域が心で結ば

上でも大切な考え方だと私は思います。私たちは、日々支え合って生きています。私は、誰もがお互いに目の前にいる人を思いやることが大切だと思います。非行に走ってしまわないのは、本人だけの問題ではないと思うのです。夢や目標があり、一緒に頑張ったり、支え合ったりすることが出来る友達や家族の存在が必要だと思います。今、目の前にいる人を思いやる、相手の気持ちを考えること、それだけのことでも、社会はよい方向に進んでいくと、私は信じています。

もしかしたら、相手が自分のことを受け入れてくれるかわからない不安があるかもしれませんが。しかし、相手を尊重し、自分から心を開いていくことが相手に歩み寄る第一歩なのではないでしょうか。私にできることは、本当に小さなことです。私が行動したからと言って、急に何かが変わるわけではありません。しかし、自分のできることは精一杯するつもりです。私にも、周りの人に思いやりをもって接することはできます。私は、これから自分の周りの人たちに思いやりをもって接し、たくさんの人を明るくできるような人になりたいです。

れているからだ。その結ぶものが、当たり前という言葉、挨拶だ。幼い者から老人まで、挨拶の言い方は様々、こんな心からのお互いのやりとりが地域の平和と穏やかな生活を生み出す。非行のない明るい社会には、いつも誰からとでもなく挨拶が始まり、その輪が波の波紋のように広がる。私の住む東温市。挨拶ロード日本一を目指し、心がつながりを持てば、非行の芽も摘むことができる。誰にも悲しいこと辛いこと、自分ではどうにもならない心の重荷があるところからか、解決する糸口がでると思う。この糸口が挨拶の一つの役割でもある。

挨拶から広がる東温市の挨拶日本一、愛媛にはおとてなし精神がある。これも挨拶の一つ、ならば、東温市に住む人々にもその心はあると思う。非行に走らざるを得ない思いを考えたとき、その心に響く言葉が必ず存在すると思う。その最初の言葉こそが、当たり前前の挨拶だと考える。挨拶から始まる明るい社会、東温市挨拶日本一を目指し、非行撲滅を挨拶から始めよう。私にできることは、絶えることなく日々大きな声で元気な挨拶を続けていくことだ。